

# 平成22年度における運用状況等

## (平成22年4月～平成23年3月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っていますが、平成22年度における運用状況が確定しましたので公表いたします。

なお、毎年6月末日までに被保険者等の皆様に送付させて頂いております「運用（付利）結果のお知らせ」の基礎となります前年度の運用成績につきましては、毎年度の末日における運用収入の額が基準となります。

当基金が行っています年金資産の運用については、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績がプラスになる年やマイナスになる年がありますが、長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思いますので、皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（平成20年3月31日認可）－抜粋－

### 2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公開するとともに、加入者に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の加入者に係る運用結果を通知する。

# 目 次

	頁
1. 平成22年度（平成22年4月～平成23年3月）における運用環境について . . . . .	1
2. 平成22年度（平成22年4月～平成23年3月）のポートフォリオ別の運用状況 . . . . .	2
3. ベンチマーク・インデックスの推移 . . . . .	4
（参考）	
被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移 . . . . .	5
用語の説明 . . . . .	7

## 1. 平成22年度（平成22年4月～平成23年3月）における運用環境について

### ○国内債券

年度初から8月下旬にかけて、世界的な株価の下落などを受け、日本の10年国債利回りは低下しました。9月に入り一旦上昇に転じましたが、日銀が包括的な金融緩和策を決定したことなどから10月上旬にかけて低下し、一時0.820%となりました。10月中旬以降は、米長期金利の上昇などを背景としておおむね上昇傾向となりました。

### ○国内株式・外国株式

国内外の株式市場は、4月は堅調であったものの、5月以降おおむね8月までは、ユーロ圏諸国の債務問題や世界経済の減速懸念などにより、世界的に株価は下落傾向となりました。9月に入り米経済指標が良好だったことや、11月のFRBの追加金融緩和策の発表などを受け、外国株式は3月上旬までは上昇しました。

国内株式は、円高の進行などから10月までは下落傾向となりましたが、日本株の出遅れ感や円安基調による企業業績の改善期待などから、11月以降2月までは上昇しました。しかしながら、3月中旬以降は東日本大震災や福島第一原発の事故などを受け、国内株式は大幅に下落しましたが、3月末にかけて若干戻しました。外国株式も東日本大震災を受けて下落しましたが、米経済指標が良好だったことなどから3月末にかけて上昇しました。

### ○為替

ユーロ圏諸国の債務問題などによる世界経済の先行き不透明感などを受け、年度初から9月上旬までは、ドルやユーロに対して円高基調となりました。9月中旬に政府・日銀が円売り・ドル買い介入を実施したことから、一時1ドル85円台となりました。その後、再び円高が進行し、10月下旬には1ドル80円台となった後、米長期金利が上昇したことなどから円安が進行し、12月中旬には1ドル84円台となりました。3月中旬の東日本大震災後、一時1ドル76円台と過去最高値となりましたが、日米欧の主要7カ国（G7）の通貨当局による円売り協調介入などを受け、3月末にかけて、ドル、ユーロなどに対して円安基調となりました。

## 2. 平成22年度(平成22年4月～平成23年3月)のポートフォリオ別の運用状況(決算整理前)

### ①被保険者ポートフォリオ

平成22年度における被保険者及び待期者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、平成22年度末の時価総額は1,460億87百万円となり、平成22年度の総合収益は-82百万円となりました。また、修正総合利回りは-0.06%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	平成21年度末 時価総額 ①	平成22年度保険料・ 国庫補助投下額等 ②	計 ③(①+②)	平成22年度末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	平成22年度総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	92,656	7,401	100,057	101,560	69.5	1,503	1.58
国内株式	18,109	1,491	19,600	18,029	12.3	-1,571	-8.24
外国債券	6,762	1,251	8,013	7,579	5.2	-434	-5.78
外国株式	17,705	384	18,089	18,595	12.7	507	2.78
短期資産	(注)1参照 -1,234	1,645	411	323	0.2	-87	-19.24
合 計	133,997	12,172	146,169	146,087	100.0	-82	-0.06

- (注) 1. 「平成21年度末時価総額①」欄の短期資産にあるマイナス表示は、平成21年度決算に基づき、被保険者危険準備金ポートフォリオへの繰入を行ったためです。  
 2. 国内債券のうち満期保有分(基本的に50%)については、償却原価法を適用しています。  
 3. 「平成22年度保険料・国庫補助投下額等②」欄では、受給権者経理への繰入額及び死亡一時金の給付額が除かれています。  
 4. 信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等は、短期資産で整理しています。  
 なお、信託報酬、有価証券の保管手数料及び外貨流動性預金に係る為替評価損益等を整理する前の短期資産の利回りは、自家運用分が0.03%、外部委託分が0.10%となりました。  
 5. 単位未満を四捨五入しているため、合計欄で合わない場合があります(以下同じ)。

(参考)

平成22年度第4四半期(平成23年1月～3月)の運用状況

(単位:百万円、%)

資 産	平成22年12月末 時価総額 ①	第4四半期保険料・ 国庫補助投下額等②	計 ③(①+②)	平成23年3月末 時価総額 ④	時価総額 構成割合	第4四半期総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	96,348	5,348	101,697	101,560	69.5	-137	-0.14
国内株式	18,160	271	18,431	18,029	12.3	-402	-2.22
外国債券	6,612	649	7,262	7,579	5.2	318	4.39
外国株式	17,227	-63	17,164	18,595	12.7	1,431	8.30
短期資産	4,388	-4,014	374	377	0.3	3	0.48
合 計	142,736	2,192	144,927	146,140	100.0	1,213	0.84

## ②被保険者危険準備金ポートフォリオ

平成22年度における被保険者及び待期者に係る付利準備金及び調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成21年度末 時価総額 ①	平成22年度 繰入額等②	計 ③(①+②)	平成22年度末 時価総額 ④	平成22年度 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
付利準備金	短期資産	1,032	2	1,034	1,036	2	0.24
調整準備金	短期資産	958	-18	941	942	2	0.24
合 計		1,990	-16	1,974	1,979	4	0.24

(注)「平成22年度繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額が除かれています。

## ③受給権者ポートフォリオ

平成22年度における受給権者に係る資産の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

資 産	平成21年度末 時価総額 ①	平成22年度 繰入額等②	計 ③(①+②)	平成22年度末 時価総額 ④	平成22年度 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
国内債券	4,655	1,939	6,594	6,752	157	2.86
短期資産	87	105	192	192	0.1	0.05
合 計	4,742	2,044	6,787	6,944	157	2.78

(注)「平成22年度繰入額等②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額が含まれ、年金及び死亡一時金の給付額が除かれています。

## ④受給権者危険準備金ポートフォリオ

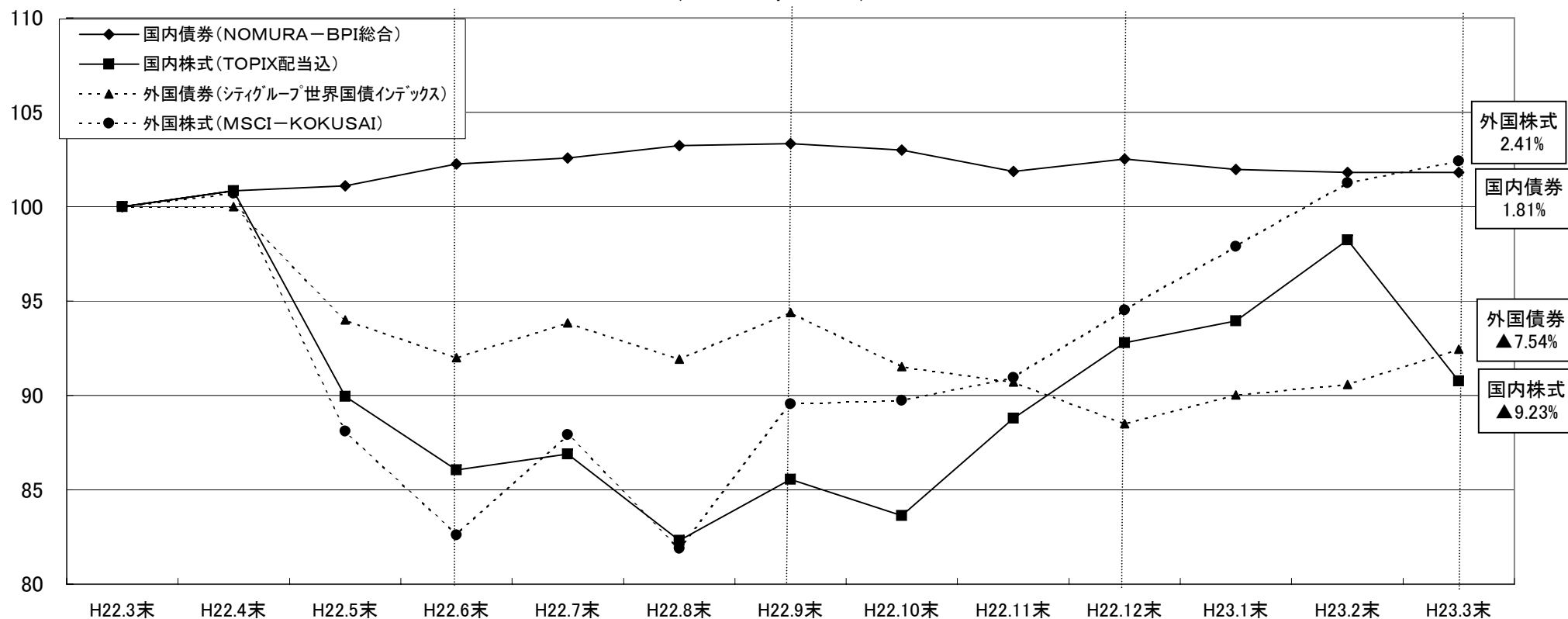
平成22年度における受給権者に係る調整準備金の運用状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円、%)

区 分	資 産	平成21年度末 時価総額 ①	平成22年度 繰入額②	計 ③(①+②)	平成22年度末 時価総額 ④	平成22年度 総合収益 ④-③	(参考) 修正総合 利 回 り
調整準備金	短期資産	415	99	514	515	1	0.22

(注)「平成22年度繰入額②」欄では、被保険者ポートフォリオからの受入額及び被保険者危険準備金ポートフォリオからの受入額が含まれています。

### 3. ベンチマーク・インデックスの推移 (H22.3末=100)



#### ○運用環境

	平成22年3月末	平成22年6月末	平成22年9月末	平成22年12月末	平成23年3月末
国内債券(新発10年国債利回り)	1.390 %	1.081 %	0.930 %	1.120 %	1.249 %
(NOMURA-BPI総合)	322.689 ポイント	329.973 ポイント	333.511 ポイント	330.801 ポイント	328.522 ポイント
国内株式(日経225)	11,089.94 円	9,382.64 円	9,369.35 円	10,228.92 円	9,755.10 円
(TOPIX配当込)	1,214.95 ポイント	1,045.55 ポイント	1,039.35 ポイント	1,127.33 ポイント	1,102.75 ポイント
外国債券(米国10年国債利回り)	3.828 %	2.933 %	2.512 %	3.295 %	3.472 %
(シティグループ世界国債インデックス)	314.39 ポイント	289.26 ポイント	296.74 ポイント	278.21 ポイント	290.67 ポイント
外国株式(NYダウ)	10,856.63 ドル	9,774.02 ドル	10,788.05 ドル	11,577.51 ドル	12,319.73 ドル
(MSCI-KOKUSAI)	1,180.683 ポイント	975.332 ポイント	1,057.362 ポイント	1,116.112 ポイント	1,209.121 ポイント
為替レート(対ドル)	93.44 円	88.49 円	83.54 円	81.11 円	82.88 円
(対ユーロ)	126.43 円	108.39 円	114.05 円	108.81 円	117.62 円

## (参考) 被保険者ポートフォリオ 運用実績等の推移

### (1) 総合収益の推移

(単位:百万円)

年度	総合収益 (単年度)
平成14年度	-563
15	1,852
16	1,690
17	6,603
18	2,923
19	-5,047
20	-10,765
21	10,849
22	-82

(注)「平成14年度」の計数は、平成14年1月1日から平成15年3月31日までのものです。(以下同じ)

### (2) 運用利回りの推移

年度	修正総合 利回り (単年度)
平成14年度	-4.65%
15	5.99%
16	3.40%
17	9.80%
18	3.27%
19	-4.73%
20	-9.25%
21	9.14%
22	-0.06%

### 【参考1】

平成22年度各四半期毎の総合収益等の推移

(単位:百万円)

	総合収益	修正総合 利回り
第1四半期	-4,921	-3.62%
第2四半期	2,043	1.54%
第3四半期	1,636	1.19%
第4四半期	1,213	0.84%
通期	-82	-0.06%

### (3) 運用利回りの推移(運用資産別)

年度	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	合計
平成14年度	2.58%	-28.75%	16.31%	-31.72%	-0.36%	-4.65%
15	-0.08%	48.62%	-1.70%	21.12%	-7.85%	5.99%
16	1.76%	3.07%	11.42%	14.90%	-18.46%	3.40%
17	-0.14%	49.88%	7.83%	27.68%	-21.62%	9.80%
18	1.75%	0.94%	10.62%	17.36%	-21.84%	3.27%
19	2.42%	-29.59%	0.80%	-18.59%	-22.99%	-4.73%
20	1.53%	-33.61%	-7.44%	-44.90%	-35.01%	-9.25%
21	1.66%	28.45%	0.57%	43.69%	-22.11%	9.14%
22	1.58%	-8.24%	-5.78%	2.78%	-19.24%	-0.06%

### 【参考2】

運用手法別運用資産額(平成22年度末)

(単位:百万円)

	自家運用 資産	委託運用 資産	計
国内債券	51,418	50,142	101,560
国内株式	-	18,029	18,029
外国債券	-	7,579	7,579
外国株式	-	18,595	18,595
短期資産	58	265	323
合計	(35.2%) 51,477	(64.8%) 94,610	(100.0%) 146,087

(4) 年度末時価総額の推移

(単位:百万円)

年度	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		短期資産		合計
	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	時価総額	構成割合	
平成14年度	15,485	67.5%	3,169	13.8%	1,225	5.3%	1,639	7.1%	1,434	6.3%	22,948
15	33,240	78.5%	4,166	9.8%	1,935	4.6%	1,555	3.7%	1,438	3.4%	42,335
16	43,270	71.6%	9,081	15.0%	2,192	3.6%	5,765	9.5%	121	0.2%	60,430
17	57,192	69.2%	14,581	17.6%	2,510	3.0%	8,219	9.9%	117	0.1%	82,619
18	72,170	71.9%	15,014	15.0%	3,694	3.7%	9,310	9.3%	157	0.2%	100,345
19	80,207	73.6%	15,108	13.9%	3,229	3.0%	9,200	8.4%	1,192	1.1%	108,937
20	81,805	72.9%	13,891	12.4%	5,568	5.0%	10,778	9.6%	165	0.1%	112,207
21	92,656	68.4%	18,109	13.4%	6,762	5.0%	17,705	13.1%	311	0.2%	135,543
22	101,560	69.5%	18,029	12.3%	7,579	5.2%	18,595	12.7%	323	0.2%	146,087



## 用語の説明

### ○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある(同義語 ファンド)。

### ○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

### ○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

### ○ ベンチマーク・インデックス

各資産を代表する銘柄から構成される指標のこと。それぞれの資産を運用する基準として、当基金が採用しているものである。

#### \* NOMURA-BPI総合

野村証券金融市場調査部が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付債から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

#### \* TOPIX(配当込)

東京証券取引所が作成している国内株式市場の指標。東証一部全上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

#### \* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

シティグループ・グローバル・マーケッツ社が作成している外国債券市場の指標。主要各国(除く日本)が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

#### \* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、円換算)

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。